

★7月サロン日程★

★ 英語サロン

講師 ケビンディーガン先生

開催日 7月 4日(土)
7月18日(土)

時間 どちらの日も ①9:30~10:30
②10:45~11:45

★ 韓国語サロン

講師 坂口直美先生

開催日 7月14日(火)
7月21日(火)

時間 どちらの日も 10:00~11:30

★ 初級英語サロン

講師 ミリアムグランドマン先生

開催日 7月 7日(火)
7月14日(火)
7月21日(火)

時間 どちらの日も 19:00~20:00

会場 今津東コミュニティセンター

参加費 1,000円 (会員500円)



お問い合わせ

高島市国際協会

高島市今津町中沼1-4-1今津東コミュニティセンター

☎20-1180

? 今、日本には どこの国の人々が 多く住んでいるのか



現在 日本に住む外国人人口約212万人です。
この数は、この20年間で6割の増加です。

国籍別では

- ①中国 -----67万人
- ②韓国 / 朝鮮 --50万人

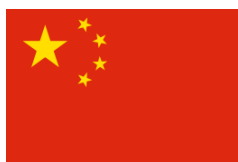
となっています。

特別永住者が多数を占める韓国/朝鮮人は近年、
高齢化とともに減少を続けています。

増加数規模では中国が特に目立って増加
していますが、20年間で大きく増加し、
現在3位の国はさて、どこでしょうか。

- ③フィリピン ---21万人
- ④ブラジル ---17万人

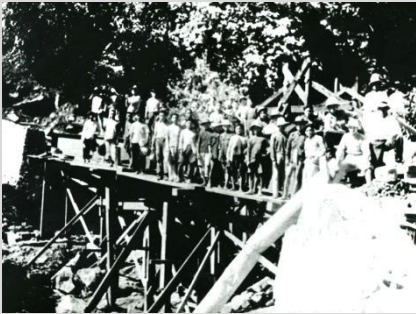
そうです。答え、3位はフィリピンです。
意外だと思われる方も多いと思います。
そのわけは 裏面をご覧ください。





日本に住むフィリピン人が多い理由は、なんと1868年(明治元)までさかのぼることとなります。

1868年(明治元)に日本人の海外移住が始まりました。ハワイ移住から始まり、ブラジル、ペルー、アルゼンチンなど南米への移住者が増える中、それと並行してフィリピン、南洋諸島へも広がりを見せて行きました。



1900年頃、アメリカ、ケノン大佐がマニラとバギオを結ぶ道路の建設を実施。標高1,500メートルの奥深い山での作業は困難を極めた。

日本人の出稼ぎ労働者の方々は真面目によく働いたため、特に難しい仕事を任せられ、大活躍。しかし、その分たくさんの方が亡くなった。

ケノンロード完成後も、多くの日本人労働者は帰国せず、バギオに定住した。

フィリピンへ移住した日本人は努力の末、豊かな移住社会を築きました。その最盛期には約3万人にもなりました。

しかし、第二次世界大戦が日系人の生活を一変させます。

戦時中、多くの1世が、命を落とし、生き延びた1世は、日本へ強制送還されました。

子どもたちの多くはフィリピン人母とともに残されたり、あるいは、両親ともに亡くしたりと、孤児となった2世も少なくありません。

戦後、それまでの日本人移民とフィリピン住民との友好関係は断ち切れ1956年(昭和31)に国交が回復するもフィリピン人の反日感情は根強く、現地残留の日本人は迫害を恐れて身を潜めての生活が続いていました。

対日感情が好転した1980年代(昭和55～)に入ると日系人自らがフィリピン各地で日系人会を組織し、存在の証を求めて立ち上がりました。

また日本国内でも、フィリピンにおける残留日本人の問題は戦後未処理問題の一つとして政府が取り組み出しました。

さらに、1990年(平成2)日本の出入国管理法改正で、日系2世、3世に職種に制限のない長期就労が認められるようになりました。現在、日本に暮らすフィリピン人のうち、7万5千人以上が「永住者」の在留資格を取得しています。「日本人の配偶者」の在留資格を持つ人も約5万人います。また、フィリピンから呼びよせられた子どもや日系人など「定住者」の在留資格を持つ人は3万5千人余りです。

また、2009年(平成21)5月からは、日・フィリピン経済連携協定(JPEPA)に基づくフィリピン人看護師介護福祉士候補者の受入が開始され、これまでに300人以上が来日、日本語や受入施設での研修を行っています。

一方、経済連携協定に基づく受入とは別に、すでに日本に定住している人がホームヘルパー2級などの資格を取得し、介護現場で働いているケースも増えてきています。

このような日本とフィリピンの歴史背景から、将来もフィリピン人の日本での安住化が進んでいくものと考えられます。



(農地開拓期 1900年代)



(アバカ麻収穫作業の様子)



(バギオ市メインストリートの日本人経営の百貨店 1932年ごろ)



(学校の寄宿舎の先生と子ども 1941年)

